

「予想講座 予想問題編(2021/12/4)での質問への回答」

テコム看護
講師 中尾 裕貴

2021/12/4 に実施した「予想講座 予想問題編」の Zoom 講義中に頂いた質問の中で、“講義時間の関係上”&“看護師国家試験の出題レベルを超えていた(=他の受講生の混乱を避ける)”ために、質問への解答が十分ではありませんでした。

以下に質問と回答を記載します。

質問としては非常に鋭く、いい質問であると思います。

無顆粒球症は、抗甲状腺薬以外の薬剤（看護師国家試験では出ません）でも起こりえるので、薬剤を使う臨床の現場では意識しておかなくてはなりません。

質問して下さった受講生の方、ありがとうございました！

質問：抗甲状腺薬で無顆粒球症になる理由はなんですか？

回答：“抗甲状腺薬で無顆粒球症になる理由”は以下の免疫学的機序によるものと考えられています。

無顆粒球症

(概念) 顆粒球の激減

(症状) 発熱など

(原因) 薬剤（抗甲状腺薬や抗菌薬など）、感染症、その他

(機序)以下の機序が考えられている。

1.免疫学的機序

=好中球の細胞膜に結合した薬剤がハプテンとして働き、抗好中球抗体の産生を引き起こし、抗体が結合した好中球は貪食細胞により破壊される。

2.骨髄造血細胞に対する毒性

=薬剤やその代謝産物が顆粒球系前駆細胞の核内物質や細胞質内蛋白と結合し成熟を抑制する。